

科目名	担当教員	学期	単位
上級計量政治分析	飯田 健	前期	2

講義概要

この授業では、計量政治分析におけるいくつかの高度な統計手法の習得を目指す。これらの手法のほとんどは最尤法 (the maximum likelihood method) にもとづくものである。各手法を習得するにあたっては、その統計学的な特性を理解するとともに、公刊されている論文の分析結果のreplicationを通じて分析技術を身につけることを目指す。さらに、最新の手法への橋渡しとしてベイズ統計学やEITMについても簡単に触れる。

受講するためには、統計的推論と最小二乗法についての基本的理解を有し、SPSSの操作に習熟している必要がある。統計ソフトとしては、手法に応じて主にSTATAとRを使い分ける。受講生は学期の終わりに、授業で習った手法を用いて、それぞれの研究関心に即したペーパーを作成し、発表しなければならない。

シラバス

- 第1週 統計的推論のおさらい
- 第2週 行列と最少二乗法のおさらい
- 第3週 最尤法の原理、Probit/Logit
- 第4週 Probit/Logit (データ分析)
- 第5週 Ordered Probit/Logit、Multinomial Probit/Logit、Tobit
- 第6週 Ordered Probit/Logit、Multinomial Probit/Logit、Tobit (データ分析)
- 第7週 Event History Models
- 第8週 Event History Models (データ分析)
- 第9週 Multi-Level Models
- 第10週 Multi-Level Models (データ分析)
- 第11週 Time-Series-Cross-Section Analysis
- 第12週 Time-Series-Cross-Section Analysis (データ分析)
- 第13週 ベイズ統計学入門
- 第14週 数理モデルと計量モデルの融合—EITM入門
- 第15週 ペーパー発表会

教科書

William H. Greene. 2002. *Econometric Analysis*, 5th ed. Upper Saddle River, NJ.
その他配布資料

参考文献

評価方法

クラス参加：40%
リサーチペーパー：60%

関連URL

備考